

令和2年度京都文学賞運營業務 業務委託に係る公募型プロポーザルに関する質問の回答について

No.	質問	回答
1	<p>仕様書（3）イ応募者の受付について 分析とはどのようなものを求められるか（年齢、職業、何を見て応募したかなどでよいか）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応募者の属性（年代、性別、居住地、職業等）や「京都文学賞を知った方法」を、応募用紙（専用ホームページ及び郵送）から集計・分析していただきます。 ・ なお、仕様書（3）イ応募受付と直接の関係はありませんが、専用ホームページにおいて、アクセス分析ができることが好ましいと考えています。
2	<p>仕様書（5）ア各選考委員に対する謝金の支払いについて 1人いくらの謝金を用意すればよいか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応募作品数によって選考委員の人数や一人当たりの作品数変動するため、一人当たりの謝金は決定していませんが、前回の実績は、一次選考委員全体で200～300万円程度です。
3	<p>仕様書（5）イ二次選考の各選考委員に対し、謝礼の支払いについて 分量に応じてということであるが、一作品いくらという設定かまた、いくらを想定すればよいか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二次選考委員に対しては、作品の文字数に応じて、4万字までにつき500円分の図書カード（1作品上限2千円）をお渡しする予定です。 ・ なお、一人当たり10～15作品を担当いただく予定です。（応募作品数により変動する可能性があります。）